

平成30年7月豪雨災害における JR貨物の対応について

平成30年10月9日
日本貨物鉄道株式会社
関西支社 広島支店

「平成30年7月豪雨」に伴う貨物列車運転状況等について

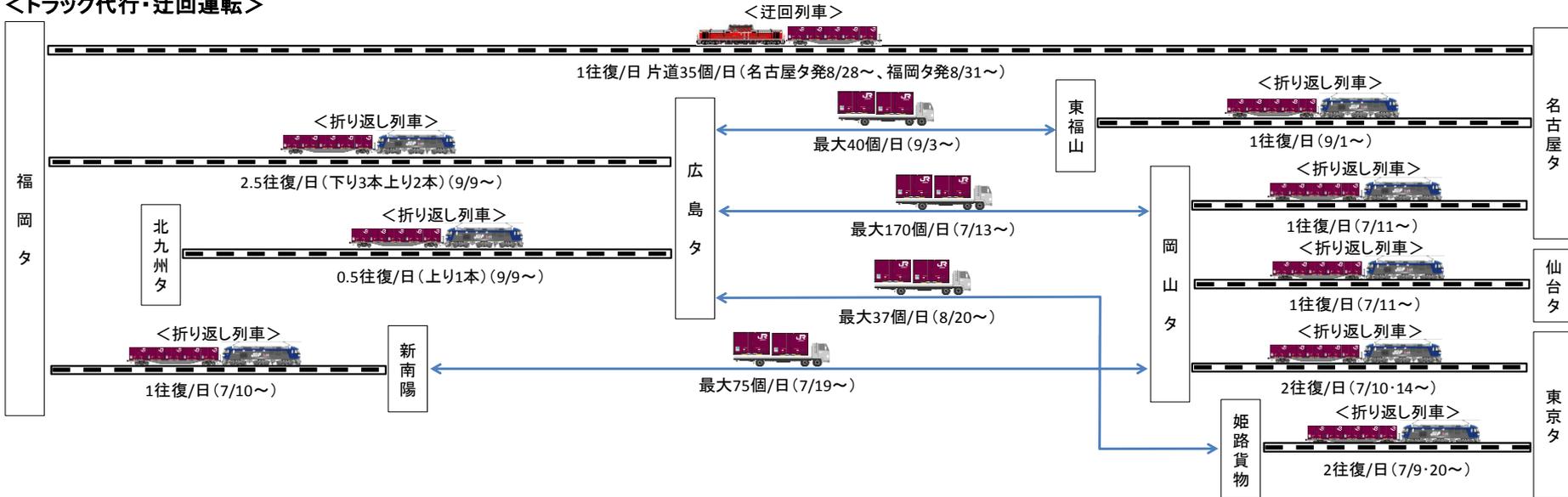


※下線部は貨物列車の運転を新しく再開する区間

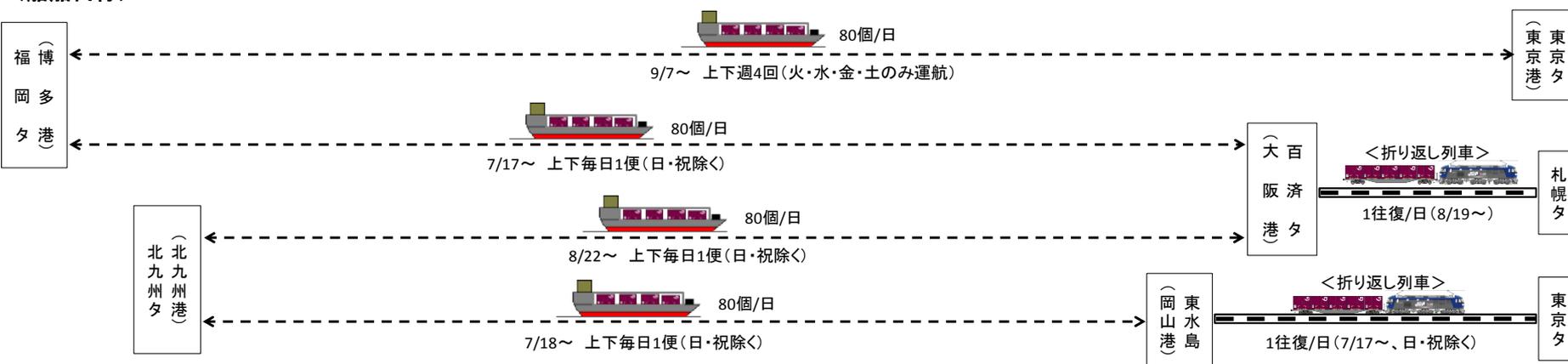
※(夕)は「貨物ターミナル」の略

「平成30年7月豪雨」の影響による代行輸送・迂回運転
(2018年(平成30年)9月14日現在)

<トラック代行・迂回運転>



<船舶代行>



※ 「タ」は「貨物ターミナル」の略
 ※ 船舶代行の個数は使用する船舶によって変わることがあります。
 ※ トラック、船舶の代行区間に記載されている数値は片道の12フィートコンテナ輸送力となります。

確保できる予定の代行輸送力
最大678個/日

平成30年7月豪雨災害の影響

列車運休本数（～10／4） 1,409本

代行コンテナ個数（～9／30）

トラック	下り	15,444個
	上り	15,315個
船舶	下り	10,468個
	上り	7,788個

迂回列車輸送個数（～9／28）

下り	895個
上り	828個

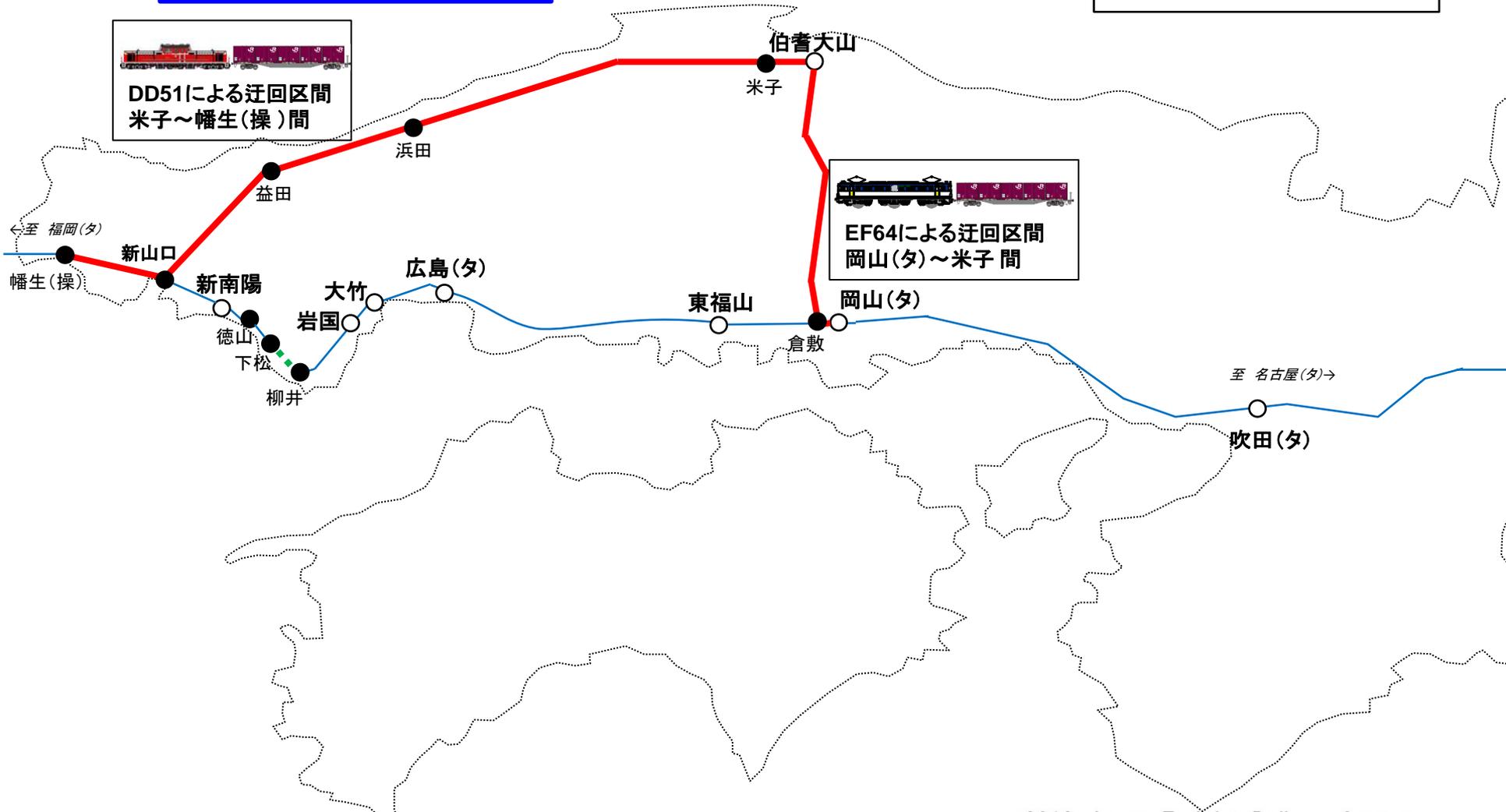
※個数は12ftコンテナ換算

迂回区間(赤線部分)
 山陽線:岡山(夕)~倉敷
 伯備線:倉敷~伯耆大山
 山陰線:伯耆大山~益田
 山口線:益田~新山口
 山陽線:新山口~幡生(操)

— 貨物列車主要路線
 - - - 不通区間(10月4日時点)
 — 迂回運転するルート
 ○ JR西日本・JR貨物の主な駅
 ● JR西日本の主な駅


 DD51による迂回区間
 米子~幡生(操)間


 EF64による迂回区間
 岡山(夕)~米子間



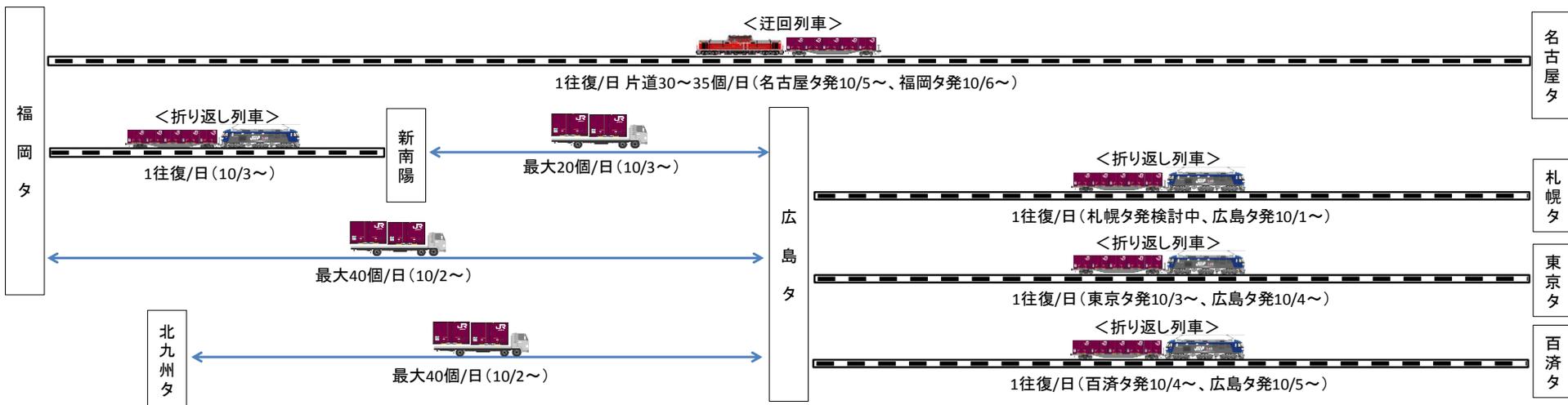
「台風24号上陸」に伴う貨物列車運転状況等について(10月4日時点)

—— 運転可能区間 貨物列車不通区間



※(夕)は「貨物ターミナル」の略

台風24号の影響によるトラック代行輸送・迂回列車運転
(2018年(平成30年)10月4日時点)



※ トラック代行区間に記載されている数値は片道の12フィートコンテナ輸送力となります。

確保できる予定の代行輸送力
最大265個/日